

2016年11月19日(土)OPEN!

高津秀太郎 美術館

Musée de
HIDETARO
TAKATSU



◆開館記念展◆

2016年11月19日(土)～2017年3月31日(金)

開館日:土曜日、日曜日、祝日 但し2016/12/31(土)、2017/1/1(日)、1/2月(祝)は休館

開館時間:午前10時～午後4時

高津秀太郎美術館

〒382-0071 長野県須坂市小河原町1403 TEL. 026-245-9900

〈入館無料〉



高 津秀太郎美術館は長野県須坂市小河原町に2016年11月19日(土)、開館いたします。

画家高津秀太郎は、1990年、長野県上高井郡小布施町に生まれ、現在同町在住。弱冠25歳の若きアーティストです。

2012年、22歳のとき、それまで絵画制作などまったく経験がなかったにも関わらず、天啓のように画家になることを決め、創作活動に入りました。絵画制作を始めて3ヶ月後の2013年1月、東京銀座で個展を開催、その後、2013年、2014年と、パリのギャラリー・メタノイアでグループ展に出品。2014年には、フランス・シャブリにあるレストランAu fil du zincで作品展示。2016年5月には、東京のGINZA NAGANOのアートイベント、「next:信州新世代のアーティストによる絵画と音楽の饗宴」に招待されるなど国内外で精力的に活躍しています。

2016年1月、館長夫人である吉池厚子が作品に出会い、その作品に大きな魅力を感じて購入したのでをきっかけに、高津秀太郎との交流がはじまり、美術館の開館へと至りました。

美術館は、吉池邸の土蔵を改装して開設されます。ここは北信五岳が一望できる「崖下清水」と呼ばれる絶景ポイントにあり、城のような佇まいの土蔵は、新しい観光スポットとしても魅力的です。

美術館の横には、今後、カフェを開設する予定があります。須坂のみならず、北信・須高エリアの活性化の一躍を担う場として期待されます。



◎お車でお越しの方

上信越自動車道

・「須坂長野東」ICより国道403号線を東へ、
県道352号線を北へ約15分(5.7km)

・「小布施」スマートICから南へ、
県道499号線を東へ新田町信号を南へ約10分(3.4km)

◎電車でお越しの方

長野電鉄「須坂」駅下車 タクシーで約10分

「長野」から「須坂」までは特急で15分、各駅停車で約25分



1. お花畑 (2013)
2. フロンドの女 (2013)
3. Je t'aime (2014)
4. 狂う (2015)
5. だるま (2015)
6. 絆 (2016)

